

令和7年度 ASEAN農業研修

研修生の受入について

アジア食料生産力向上
農業人材育成事業

目的

ODA（政府開発援助）

ASEAN諸国の農業を中心とした地域社会の活性化を図り得る農業青年の人材育成をすると共に、我が国との相互理解の増進と友好親善に寄与することを目的としています。



受入農家条件

受入農家になるには

- ・ JAECの海外農業研修OB
または各県国際農友会の組織会員
- ・ 研修生の学びをサポートできる農家
- ・ 積極的に研修生とコミュニケーション
を取れる農家
- ・ 本会の研修生受入条件を満たす農家

研修生受入条件

費用と研修生に提供するもの

- ・ 費用：104万円/年
(賛助会員費25万円・負担金79万円)
- ・ 研修生の個室（離れ、母屋OK）
- ・ 食事（基本、家族と一緒に食事）
- ・ 国民健康保険の加入
- ・ 週一日の休み
- ・ 8時間/日の農作業
- ・ 農作業上、特別に必要なもの

受入農家登録

配属決定までの流れ

- ① JAECに受入希望を連絡（通年受付中）
- ② 農家登録用紙提出（9月末まで）
- ③ 農家登録用紙確認
- ④ 受入可否通知発送（翌年2月）
- ⑤ 4月研修生来日・配属

お問い合わせ

公益社団法人国際農業者交流協会 業務部受入業務課
〒144-0051 東京都大田区西蒲田5-27-14 日研アラインビル8階
TEL:03-5703-0254 Email:asean0254@jaec.org



研修生について

研修生には研修中に使えるお金として、研修活動費（44,000円/月）を本会から支給します。

タイ

1983年～現在



穏やかで勉強熱心な研修生が多いです。女性、男性の研修生を受入れています。

インドネシア

1984年～現在



明るく真面目なイスラム教の研修生が多いです。男性の研修生を受入れています。

フィリピン

1986年～現在



フレンドリーで素直な研修生が多いです。女性、男性の研修生を受入れています。

>>>> 研修スケジュール >>>>



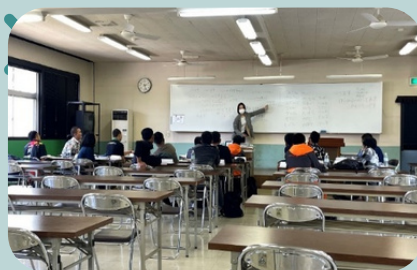
基礎研修

4月

配属面談・日本での生活や研修の心構えなどのオリエンテーションを行います。

基礎研修（日本語講習）

生活会話を中心としたレベル別の日本語講習を行います。



農家研修（前半）

5月～8月

研修生が各受入農家に配属され、実践的に農業を学びます。

農家訪問

6月～7月

協会職員が研修生と受入農家に研修に関するヒアリングをします。



学課研修

8月

鯉淵学園農業栄養専門学校にて、農業の専門学習をします。

農家研修（後半）

9月～2月

各農家に戻り、再び研修を続けます。



地方研修

9月～1月

各県組織が企画する2日間の農場視察等の研修に参加します。

最終研修

2月

研修の振り返りや修了式を行います。

